

社会資本総合整備計画(第4回変更)

あんぜん安全かつあんしん安心です住みよいきょじゅうくうかん居住空間をそうしゅつ創出するまちづくり

令和元年12月13日

福岡県筑紫野市

社会資本総合整備計画

令和元年12月13日

計画の名称										安全かつ安心で住みよい居住空間を創出するまちづくり										重点配分対象の該当					
計画の期間					平成29年度～令和3年度(5年間)					交付対象		筑紫野市													
計画の目標												災害に強く誰もが住みやすい都市基盤の整備 ・誰もが住みよいまちにするための環境整備 ・災害に強いまちにするための環境整備													
計画の成果目標(定量的指標)												・東町区(行政区)の人口【949人(H27)→1,017人(R2)】 ・まちづくりアンケート「防災・減災対策の推進」において、「満足」、「どちらかといえば満足」、「普通」と答えた人の割合【82.25%(H27)→86.50%(R2)】 ・本市が実施している市民アンケート調査による「交通環境の総合的な整備と充実」に関する満足度を増加													
定量的指標の定義及び算定式												定量的指標の現況値及び目標値						備考							
												現況値		中間目標値		最終目標値									
東町区(行政区)の人口を調査する。												H27				R2									
ちくしのまちづくりアンケートにおいて、「防災・減災対策の推進」に対する満足度を調査する。												H27				R2									
本市が実施している市民アンケート調査による「交通環境の総合的な整備と充実」に関する満足度評価指数												82.25%				86.50%									
												H27		R1		R3									
												71.7%		76.7%		78.7%									
全体事業費		合計(A+B+C+D)		987.2 百万円		A		803.0 百万円		B		162.2 百万円		C		22.0 百万円		D		0.0 百万円		効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)		2.2%	
交付対象事業																									
A 基幹事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益費	個別施設計画策定状況	備考								
									H29	H30	R1	R2	R3												
A1	都市再生	一般	筑紫野市	直接	筑紫野市	二日市地区(第二期)都市再生整備計画事業	道路、地域生活基盤等 98ha	筑紫野市						277.5											
A2	都再区画	一般	筑紫野市	直接	筑紫野市	筑紫駅西口地区土地区画整理事業	都市再生区画整理 32.5ha	筑紫野市						525.5											
													小計		803.0										
B 関連社会資本整備事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益費	個別施設計画策定状況	備考								
									H29	H30	R1	R2	R3												
B1	道路	一般	筑紫野市	直接	筑紫野市	筑紫駅西口まちづくり事業	道路整備 701m	筑紫野市						162.2											
														162.2											
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考									
B1	都再区画(A2)と併せて既存市街地の整備を行うことで、公共交通機関へのアクセスや利便性を高めて集約型のまちづくりを行い、居住環境の向上を図る。																								
C 効果促進事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考										
									H29	H30	R1	R2	R3												
C1	施設整備	一般	筑紫野市	直接	筑紫野市	筑紫駅西口まちづくり事業	筑紫地区まちづくり地区公園整備 0.17ha	筑紫野市						22.0											
													22.0												
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考										
									H28	H29	R1	R2	R3												
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考									

交付金の執行状況

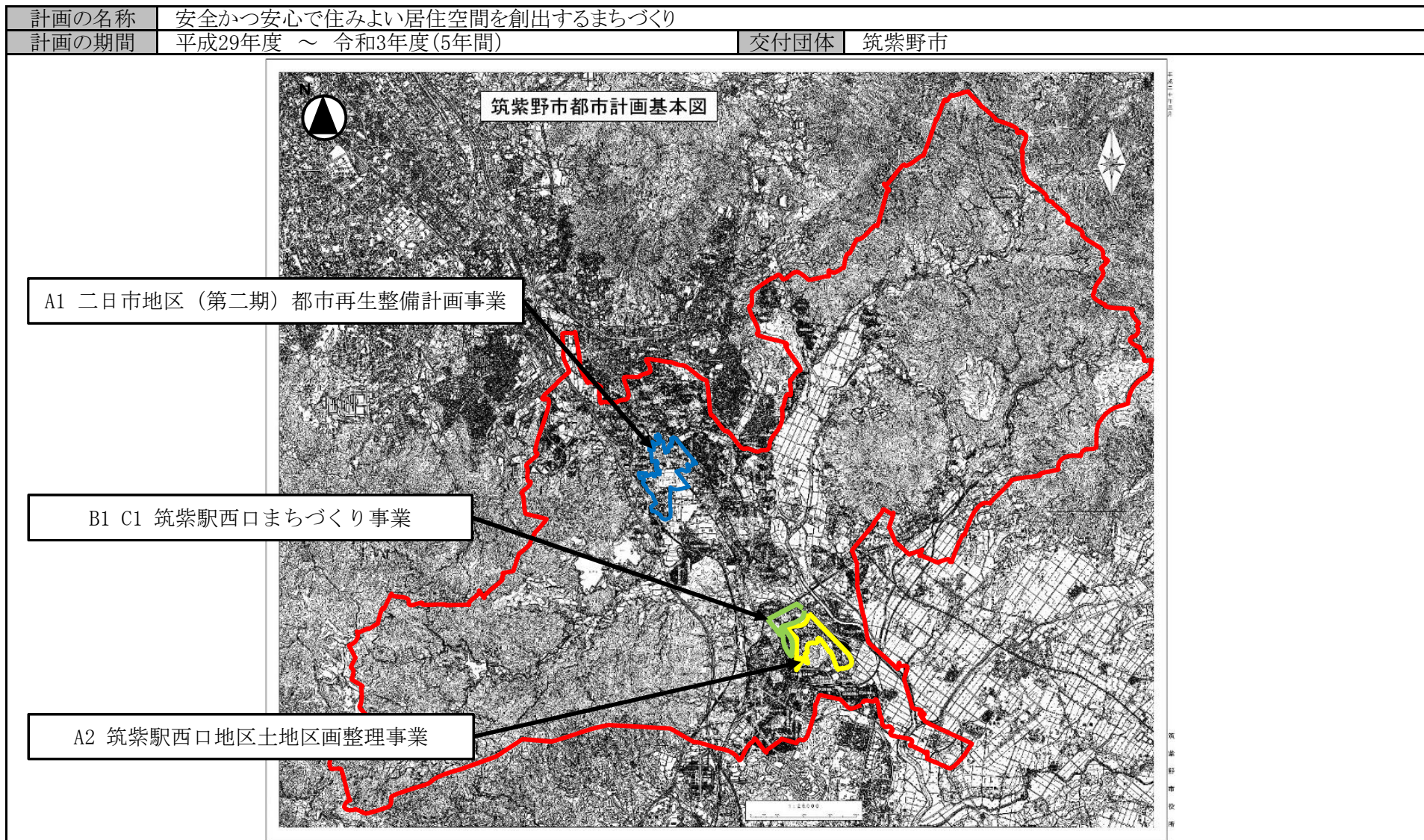
(単位:百万円)

	H29	H30	R1	R2	R3
配分額 (a)	91.780	44.493	111.074		
計画別流用 増△減額 (b)	6.000	0.000	0.000		
交付額 (c=a+b)	97.780	44.493	111.074		
前年度からの繰越額 (d)	0.000	54.230	18.000		
支払済額 (e)	43.550	80.723			
翌年度繰越額 (f)	54.230	18.000			
うち未契約繰越額 (g)	54.230	18.000			
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000			
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.555	0.182			
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	<p>交付対象事業A1において、事業に必要な土地区画整理組合の設立に不調の日数を要し、事業スケジュールに影響を及ぼしたことによるもの。</p> <p>交付対象事業A2において、事業スケジュールに大規模な修繕工事は見られ、その保存方針の決定や調査に不調の日数を要し、事業スケジュールに影響を及ぼしたことによるもの。</p>		<p>交付対象事業A2において、権利者との交渉地の位置・形状にかかわる協議に不調の日数を要し、年度内の工事完了が見込めなくなったため、B1において、公園の敷地を道路改良工事の補修施設に代替的に使用して使用しているため、道路改良工事に遅延が生じているが、道路改良工事の補修施設協議に不調の日数を要し、年度内の工事完了が見込めなくなったため。</p>		

※ 平成29年度以降の各年度の決算額を記載。

(様式第8)

社会資本総合整備計画 参考図面



都市再生整備計画(第2回変更)

ふつかいち 二日市地区 だいにき (第二期)

福岡県 ちくしの 筑紫野市

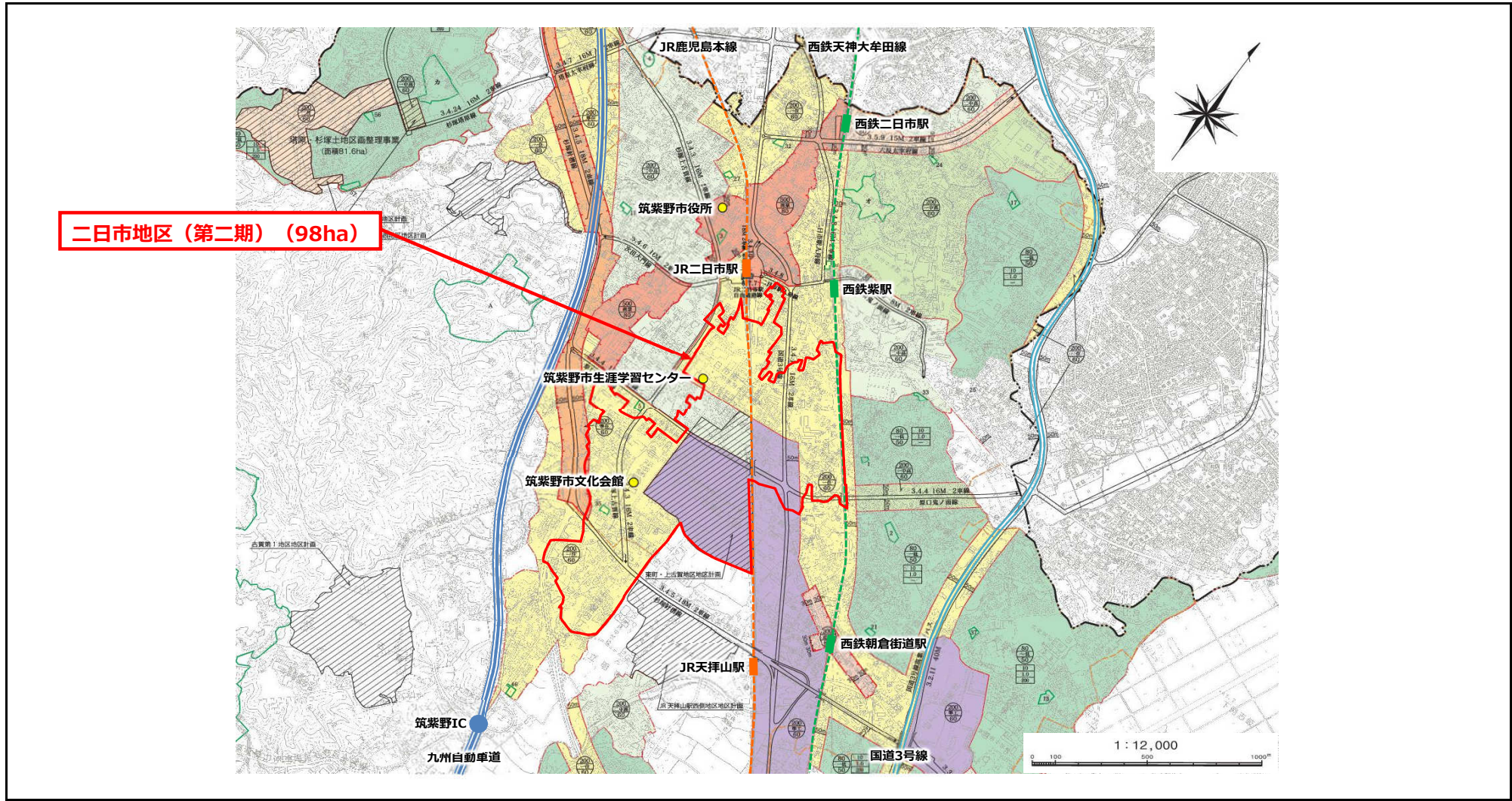
令和元年12月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【整備方針1】交通利便性を意識した市街地整備を推進し、市外からの定住を促すことにより、将来的に予測される人口の減少を抑制する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通利便性の高い東町地区の市街地形成を促進するため、同地区内の道路を整備する。 	<p>市道 二日市南4丁目1号線整備事業(基幹事業／道路) 市道 北原田・野添線整備事業(基幹事業／道路)</p>
<p>【整備方針2】地域防災計画で定める指定避難所の機能改良を行うことにより、防災・減災に関する市民満足度の向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筑紫野市地域防災計画で定める一次及び二次避難所の機能向上を図るため、避難所へのアクセス道路を整備する。 ・筑紫野市地域防災計画で定める一次及び二次避難所の機能向上を図るため、避難所の非構造部材の耐震改修を行う。 	<p>市道 野添4号線枝線整備事業(基幹事業／道路) 生涯学習センター耐震化事業(基幹事業／地域生活基盤) 文化会館耐震化事業(基幹事業／地域生活基盤)</p>
<p>【整備方針3】</p>	
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

ふつかいら だいにき ちくしの 二日市地区(第二期)(福岡県筑紫野市)	面積 98 ha	区域 二日市西2丁目、二日市南1~4丁目、紫7丁目、上古賀1~4丁目、武蔵5丁目の一部
--	-------------	--



二日市地区(第二期)(福岡県筑紫野市) 整備方針概要図

目標	大目標 災害に強く誰もが住みやすい都市基盤の整備 目標1 交通利便性を意識した市街地整備を推進し、市外からに移住を促すことにより、将来的に予測される人口の減少を抑制する。 目標2 地域防災計画で定める指定避難所の機能改良を行うことにより、防災・減災に関する市民満足度の向上を図る。	代表的な指標	東町(行政区)の人口 (人)	949 (H27年度) → 1,017 (R2年度)
		市の防災・減災対策への満足度 (%)	82.25 (H27年度) → 86.50 (R2年度)	

筑紫野市各種上位計画について

○第五次筑紫野市総合計画 (H28～R1) では、「防災・減災の推進」を施策として設定し、災害時の被害を最小限に留めるための取り組みを進めている。また、「市街地の形成」を施策として設定し、市民が住みたい・住み続けたいと思えるような街並みの形成を目指している。

○筑紫野市地域防災計画では、避難地等の進入口の拡幅、増設及び避難所の改良等の計画的な避難対策の推進を図ることとしている。

目標

**災害に強く誰もが
住みよい都市基盤の整備**

都市再生整備計画事業の実施

○交通利便性が高い東町区内に**道路を整備し、低未利用地の有効活用**を図ることで、東町区の人口増加を図る。

○地域防災計画で定める**指定避難所の機能改良**を図ることで**災害に強いまちを形成**し、防災・減災対策における市民満足度の向上を図る。

まちづくりの経緯及び現状

全国的な問題と同様、**本市においても、今後人口の減少が予測されている**ことから、継続的な行財政運営を可能とするまちづくりを進めるために、**市外からの移住の受け皿の整備**が求められている。本地区は、本市中心部に位置し、駅やバス停などの公共交通機関からのアクセスが良好であるにもかかわらず、低未利用地が多い状況である。本地区へ市外住民の移住を促進するため、交通利便性を意識した市街地整備と、東日本大震災や熊本地震以降、**市民ニーズが高まっている防災・減災施策の満足度の向上**を目指して、地域防災計画で定める**指定避難所の機能改良を行うもの**。

